技術士 1 次試験に合格して

田代　恵
（たしろ　めぐみ）

勤務先
株式会社イズム・グリーン

〒070-0026　旭川市東 6 条 4 丁目 1 番 18 号
TEL　0166-23-0440　　FAX　0166-23-1434
E-mail　m_tashiro@izmgr.co.jp

■ 専門：建設部門（河川、砂防及び海岸・海洋）

■はじめに

私は北海道教育大学を卒業後、十勝管内の中学校教諭として教育界に身をおいていました。結婚を機に退職し、現在は旭川市に住んでいます。『定時出勤・定時退社』に憧れて転職活動をしていたところ、縁があり（株）イズム・グリーンの技術員として採用され、今年度から技師として勤務しています。

■自分の知識の無さに呆れる日々

教育界という全く違う世界から飛び込んだ建設コンサルタントの仕事は驚きと学びの連続でした。CAD ソフトの使い方や、設計図の見方、作業手順等懇切丁寧に教示していただき、少しずつですが建設コンサルタントの技師らしくなってきた、と思っています。私は恵まれた環境の中、毎日新しい知識を蓄え、念願の『定時出勤・定時退社』もできて公私共に充実した日々を過ごしています。その反面、忙しい中すぐに手を止めて、親身に接してくださる上司の皆様には感謝と同時に、申し訳なさでいっぱいでした。自分の無知に呆れ、このままではいけないと思っていました。

■受験のきっかけ

入社 2 年目秋のことです。私は HP の更新に当たり、建設コンサルタントに関係する資格を纏めることになりました。数多い資格の中で、測量士（補）と技術士補は実務経験の必要がないことを知ったのですが、この時はまだ他人事でした。ある時、上司との雑談の中で「あなたも受験資格はあるんだよね」と言われ、初めて自分事として捉えました。仕事で必要とされている資格の勉強をすれば必然的に技術的知識が身につき、日々忙しい上司に負担をかける頻度が少なくなるという思いから半年後の測量士補試験、1 年後の技術士第一次試験に向けての取組みが始まりました。

したがって、私の試験勉強は、測量や土木に関する専門的知識の向上を目指すもので、合格を目的としたものではありませんでした。

■学習方法

測量士補試験が終わる 5 月までは、過去問の題意を理解することに重点を置きました。難解な専門用語は、ノートに纏め、自分の言葉に置き換えて理解を深めました。測量士補試験が終わってからは、全ての選択肢について調べ関連知識として纏め、単純な計算問題は午前中に、思考力が必要な分野は夕食前、記憶力が必要な分野は就寝前、と脳が効率的に働く時間を選んで学習しました。

■意識の変化

勉強を進めていくうちに技術士にしかできない幅広い仕事内容や技術者としての姿勢、技術士という資格の活かし方等、技術士にどんどん魅了されていきました。技術士倫理綱領にある 10 の行動指針を完全に自分のものにできたら、きっとかっこいい女性になれるのだろうな、そんな女性になりたいなと思いました。気付けば私の目標は『一人前の技術者となって技術士第二次試験合格、そしてその先の世界を見る』に変わっていたのです。

■おわりに

家庭をかかえ仕事と両立しながらの勉強は、忙しさや疲れ等を言い訳に、つい後回しにしてしまいがちでした。それでも勉強をし続け、モチベーションを維持できたのは、資格取得の目的を見失わなかったからだと思っています。上司の一言から始まったこの挑戦は、私の意識に変化をもたらし人生がより豊かになりました。その結果、測量士補、技術士補ともに合格することができました。応援してくださる皆様のためにも、感謝の気持ちを忘れずに、新たな目標に向かって日々研鑽を続けたいと思います。